



ごあいさつ

熊本県中学校体育研究会

会長 海津 英孝

本年度の熊本県中学校体育研究会の各取組が、県内の保健体育科教師の総力で大きな成果を残し、無事に終了できましたことを心より感謝申し上げます。

今年度は、第49回熊本県中学校保健体育研究発表大会上益城大会を3年ぶりに集合研修の形で行うことができました。コロナ禍の中、指導力向上を目指した学ぶ機会が中止になったり、オンラインの研究会に代えたりして行われてきましたが、これを機に活発な意見を交換した学び合いで身に付けた高い授業力による「良質な保健体育授業」が県内のどの学校でも提供されることを願っています。

さて、新学習指導要領では、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で指導内容が整理され、これらを確実に身に付けるための授業改善の視点として「主体的・対話的で深い学びの実現」についても示され、子どもたちの姿をしっかりと理解したうえで「何ができるようになるか」「何を教えるか」「どのように学ぶか」にどう取り組んでいくのかが明らかになりました。本研究会は、「保健体育担当者としての資質と専門性の向上～プロの教師としての「意識の高揚」と「授業実践力」の育成～」を基本構想に、主体的・対話的で深い学びを実現する保健体育科の創造を研究主題に掲げて研究を進めてまいりました。

上益城郡中学校体育研究会には、「主体的・対話的に取り組む保健体育授業の創造」～「単元のゴールの姿」を設定した授業づくりを通して～と題して、オリエンテーションの工夫による生徒相互の豊かな学び合いや関わり合いなどが見られた素晴らしい研究発表をしてもらいました。また、熊本大学大学院教育学部研究科准教授 末永祐介氏の講演では、授業づくりについて大変参考になる内容をご教示いただきました。大会を運営いただいた上益城郡中学校体育研究会の先生方に、深く敬意を表します。

今年度、大きな話題となりました部活動の地域移行やクラブチームの中体連参加問題が、これからの学校教育や生徒たちにどのような影響を与えるのか計り知れません。次代を担う生徒たちの健康の保持増進や体力の向上と豊かなスポーツライフの構築に向けて、保健体育教師にかかる期待は益々大きくなるものと考えます。今後、本県における保健体育授業の益々の充実・発展を心から祈念しています。

結びに、本誌への貴重な寄稿をお引き受けいただきました方々に厚くお礼を申し上げますと共に、本研究会並びに保健体育科教師への多大なるご指導とご支援を頂いております熊本県教育庁県立学校教育局体育保健課をはじめ、温かいご支援を賜りました関係各位に心から感謝申し上げます、あいさつといたします。